

高原町地域公共交通網形成計画（案）に関するパブリックコメントの回答について

ページ	意見（原文）	回答（町の考え方）
<p>目標を達成するための施策・事業 P52</p>	<p>○高齢者社会と成り高齢者に依る交通事故のニュースを毎日のように聞くようになったが。</p> <p>4～5年先にはいよいよ団塊の世代者が、後期高齢者と成ってくる。私自身あと2年でそれに達するが、運転免許の返納と成ると躊躇せざるを得ない。何故なら、自宅からバス停までは僅か300m程度だが、往きは下り坂でも、還りはその坂を上らなくてはならない。呼吸器官に疾患のある自分は、今でも大変なので、免許返納後の移動手段としては、自宅まで迎えに来てくれるタクシーしか無いので、運賃等考えると、外出の機会は随分少なくなると思う。今現在コミュニティーバス等が、運行されている地域の方々も、バス停までの移動が困難な方が存在しているのではないかと思われる。そこで、町内全域デマンド方式の乗合タクシーを取り入れたらどうかと思う。</p> <p>利用希望者を全登録性として、配車希望日時等を前日までに電話予約制として、ドア・ツー・ドア(玄関から玄関まで)で運行を行う等の検討が必要かと思う。</p> <p>既存のコミュニティーバスの利用率があがらない要因は、乗車バス停までの移動が出来ない又は、遠い・便数が少ない又は時刻が合わない・下車バス停が目的地まで遠い等考えられる。既存のバスは、乗客の有無にかかわらず定刻に運行しているがデマンド式は、予約が無ければ走らなくても良い。以上</p>	<p>貴重な御意見ありがとうございます。</p> <p>公共交通の利用実態調査によると、公共交通の利用目的は、買い物が一番多く、停留所から自宅まで重い荷物を持っての徒歩移動は大きな負担となり、高齢者や障がいをもった方々にとってやさしい公共交通が求められています。</p> <p>一方で、バス停まで歩くことによる健康づくりや、マイカー使用を抑制することによる環境保全といった新しい視点からも公共交通の利用を推進していかねばなりません。</p> <p>御指摘のあった町内全域デマンド方式の乗合タクシーの導入については、本計画の52ページ(6)目標を達成するための施策・事業の基本方針1、町民生活に即した公共交通網の再構築「⑤デマンド式の乗合タクシーの町内全域化を検討します」にありますように、歩行が困難な高齢者や障がいを持つ方などの社会参加や、本町の実情にあった公共交通網の実現のために、デマンド式の乗合タクシーの町内全域化を検討していきたいと考えています。</p>

高原町地域公共交通網形成計画（案）に関するパブリックコメントの回答について

<p>計画の期間 P50</p>	<p>○第 50 頁、「6 高原町地域公共交通網形成計画」の項目（5）「計画の期間」について、「「高原町地域公共交通網形成計画」を進めるにあたり、必要に応じて計画期間の見直しを行うことができる」とあり、「計画期間」のみの見直しが記載されています。</p> <p>一方第 58 頁、項目（8）の「達成状況の評価方法」においては、PDCAサイクルが記載されており、「事業の改善、新たな取組、統合や廃止について検討を行っていく」ことが明記されています。</p> <p>項目（5）において、本計画の期間は5か年とされていますが、同期間内に町民等からの意見を踏まえつつ、項目（8）PDCAを効果的にサイクルさせていくことを目指すものであれば、項目（5）においては、「計画期間」のみにとどまらず、「計画の内容」についても定期的に見直し、随時、軌道修正が可能な計画にすべきであると考えます。</p>	<p>貴重な御意見ありがとうございます。</p> <p>御指摘のあった「計画の内容」の定期的な見直しについては、本計画57ページの（7）計画期間及び事業スケジュールで「本計画の計画期間は、令和元年度～令和5年度の5か年とし、各事業は以下のスケジュールに従って進行します。また、令和3年度以降は、1年毎に事業進捗に関する評価を実施するものとし、事業内容の見直しを適宜行っていきます。」とありますが、ご指摘のとおり、随時、軌道修正が可能な計画にしていきたいと考えています。</p> <p>57ページの（7）を下記のように修正します。</p> <p>（7）事業スケジュール</p> <p>各事業は以下のスケジュールに従って進行します。各事業は1年毎に事業進捗に関する評価を実施するものとし、事業内容の見直しを適宜行っていきます。</p>
----------------------	--	---